



会報

# シルバー高槻

第31号

発行日 令和2年1月1日

発行者 公益社団法人 高槻市シルバー人材センター  
〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目1番5号  
TEL 072(681)2751 FAX 072(681)2763  
E-mail takatsuki-sc@sjc.ne.jp



如是三班 松浦光彦

## 「近江白浜水泳場」

謹賀新年

理事長 山川 明 (部会 総括)

副理事長 薦田 優子 (総務)

理事 石谷 壽 (広報)

理事 久保 仁 (総務)

理事 倉橋 寛 (安全)

理事 小森富佐代 (事業)

理事 初代 元夫 (安全)

理事 鈴木 研之 (事業)

理事 関本 剛司 (総務)

理事 徂徠 武蔵 (事業)

理事 土井 恵一 (事業)

理事 長島 常勝 (事業)

理事 長縄 正道 (広報)

理事 西村 勝男 (事業)

理事 野々村嘉市 (総務)

理事 蓮井 武志 (総務)

理事 森 和子 (広報)

監事 新美 英代

監事 前田 尚之

(担当部会 ◎は部会長)  
(五十音順)

常務理事兼 事務局長 北原 憲二

事務局次長 北島 弘之

事務局職員一同

## 年頭ご挨拶

高槻市長  
濱田 剛史

明けましておめでとうございませう。

高槻市シルバー人材センターの会員、役員の皆様並びに、ご協力いただいている関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、我が国が人生100年時代

理事長  
山川 明

新年明けましておめでとうございます。

元号が令和にかわって、はじめての正月という新しい時代の幕開けであります。

今年の干支は庚子かのえねです。新しい生命がぎざし始める年ともいわれます。

60年前の庚子(1960年)は、岩戸景気の中、所得倍増計画が発表され、テレビでは少年探偵団や

を迎え、労働力不足をはじめ年金、医療・介護など、地域や社会を取り巻く環境は大きく変化しており、高齢者の皆様はもとより、あらゆる世代の方々が元気に活躍を続け、安心して暮らすことのできる地域社会を築いていくための取組が一層求められてまいります。

そのような中、本市におきましては、高齢者の皆様が生き生きと住み慣れた地域で暮らしていけるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組をはじめ、「ますます元気体操」や「ますます元気/健康ポイント事業」などの健

快傑ハリマオが放映されています。当時の日本の高齢化率は5.7%で高齢社会到来前でありました。

今日、高槻市は北摂地域で最も高齢化率の高いまちとなり、「生涯現役時代」、「人生100年時代」といわれる中で、シルバー人材センターは、超高齢社会において生がいの充実を図り地域社会に貢献できるよう努めております。

今年も、会員の皆さんが「知識・経験・技能」を発揮され、「やりがい・いきがいを見つけた」といえる就業等を通して、地域社会の発展に寄与できるよう尽力してまいります。

康寿命の延伸や介護予防に向けた様々な施策を推進しております。

これらの取組には、行政のみならず、地域の皆様や、地域で活動される各団体との協働が不可欠であります。

とりわけ、我が国の高度経済成長期を支え、本市の発展に寄与してこられ、今、まさに「シルバー世代」を迎えられた皆様が、社会活動に積極的に参加をされ支援の担い手となられることで、共に支え合う地域福祉の実現のための活力となつていただくことをご期待申し上げます。

就業は「月10日程度、週20時間以内」の請負等を中心とし、2004年から派遣労働が加わり、その選択性・多様性が一層増してきました。その中で、人手不足の危機が叫ばれ、「家事支援」「子育て支援」「介護予防」「配送業務」などへの参画に大きな期待が寄せられています。

今年も、第三次中期計画(2019年度～2023年度)の2年目の年であります。

活力と魅力あるセンターをめざして、「自主(自分のものとして考える)・自立(自分たちの力で育てる)・共働(一緒になって働

貴センターにおかれましては、

シニア層の社会参加と生涯現役社会の実現に向けて、日々ご貢献をいただいております。今後とも元気な高齢者を支えていくため、その役割は益々重要になるものと考えておりますので、引き続き活力ある地域づくりのためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、高槻市シルバー人材センターのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

く)・共助(お互いに助け合う)の基本理念の下、生きがい就業を通して地域社会への参加と貢献を目指します。会員の皆さんが「いきがい」と、「地域社会とつながり現役である」という実感をもつて、地域を支え活性化させる年となりますよう願っています。

# 年男・年女

昭和十一年・昭和二十三年 生まれ

## 年男に思う



大冠北一班  
柳川瀬 春実

今年で六回目の年男です。

未熟児で生まれたそうですが、今のような病院も無く保育器も当然在りません。産婆さん曰く「この子は一週間持たないだろう」と母親に言ったそうです。

それでも母親は一生懸命に育ててくれました。結果、奇跡のように障害もなく元気に育ち現在に至っております。

七十歳（古希）の時、子供から祝いの焼酎をもらった時に、もうそんな年になったのだとつくづく思いました。

年を取ると一日一日がとても早く感じられ、平成から令和になったと思ったら、あつという間に六回目の年男です。

此処まで生きてこられた事に今は感謝しながら毎日を送っています。

子年生まれの守り本尊は千手観

音であるので今年の初詣には、大阪の葛井寺か京都の清水寺に参拝したいと思っています。

何かの本に載っていたのですが、

私は4月生まれですので6割以上は前年度干支の猪になるそうです。考えてみますと、ネズミよりも若猪突猛進型かも知れません。それを自覚してこの年なので、ゆっくりに行動を心掛けていきたいと思えます。

シルバー人材センターの紹介により第一東和会病院で働かせて頂いて今年で三年目になります。

働いているいい意味でも又悪い意味？でもいつも刺激を受けながら仕事をしています。

いつまで働くことができるかわかりませんが、頑張って行きたいと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。



虹の会作製

## 六回目の年男と年女

如是一班 平塚和敏

明けましておめでとうございませす。私は、昨年の暮れ年賀状を作るべく、簡単に作成できる解説本を購入しました。その中に雪の降る合掌村を背景に、夫婦と思しきネズミが二匹、湯けむりの中ほんのりと温泉に浸かっている絵を見つけました。なんと長閑な絵だろうと思つた瞬間、私と家内も年男と年女であることを思い出しました。結婚式のときにネズミ同士でチュウチュウやってくださいと祝辞を受けたこと等の思い出が走馬灯のように頭を巡りました。

貧しい家庭に育ち、大学を新聞社の奨学金制度で行くことになり、茨木に出てきました。大学に行つたのか新聞配達関係の業務をしに来たのか分からない四年間を過ごし、広告会社に就職しました。スポーツ好きで、じつとしてるのが苦手だったので、営業からスタートしましたが、原稿整理関係から経理関係、経理システム構築、法務等の仕事を経験しました。仕事の関係で、権力抗争に巻き込まれてパワハラを受け、パチンコ、酒に溺れて借金に苦しんだりして

いました。そんな中、妻は安い給料の内から両親と同居するための貯金をしてくれていました。新居に同居した翌年に父が脑梗塞で倒れ半身不随になりました。介護生活で夫婦喧嘩が絶えず離婚の危機もあつた七年間が過ぎて父が亡くなった後、今度は母が足を痛め歩行困難になりました。義理の親なのに下の世話までしてくれた妻に、頭が上がりません。

私は四人姉弟で男一人。子供は女二人。孫もまず女二人、やっと待望の男も二人できました。

定年後、社会福祉委員で、お年寄りへの喫茶、食事サービス等。小学校の登校の見守り等。地域の人と色々な交流をしています。高槻市シルバー人材センターからは、囲碁・将棋コーナーの受付業務の仕事を頂き、下の娘の家庭は転勤族でしたが、高槻市役所に勤務させてもらうことになり、上の娘も吹田に居を構えました。今の私は幸せいっぱいです。感謝、感謝です。みなさんありがとうございます。



# 年男・年女

昭和十一年・昭和二十三年 生まれ

## 感謝



磐手四班  
竹原 幸子

私が生まれたのは一九三六年。七度目の子年が廻ってまいりました。

こんなに永く生きられるとは思っていませんでした。と、申しますのも、七四才の一月に腰部脊柱管狭窄症手術。(腰に金具入)其の二ヶ月後に偶然にも胃癌が見つかり、三月に胃を全摘しました。其の後仕事も減らし少しづつ体力の改善と思い、月一回自治会、花の会、草引きの奉仕活動、ハイキング三ヶ所、市が行っている元気体操週三回、コーラス週二回参加合間をぬって家の花畑整理。

手術をしてくださった主治医の先生にハイキングも行っていると伝えますと、体重が軽くなつたお陰で、足に負担が掛からないからとおっしゃいました。

なるほどそうだと思います。それに私はいい人に巡り合います。



す。癌を見つけてくださった先生、手術をしてくださった先生方、ハイキングの友人、体操で知り合った友達、犬を飼っていた時に知り合った方達。  
又四年六ヶ月前に亡くなった主人。昨年の地震、台風の折と何かにつけて見守ってくれている様に感じます。  
今、暫く主人にそちらへ呼ばないでねと……。  
一人で悠々と一日一日を大切に過ごしております。  
皆々様方に感謝をしながら……。

五祥

令和二年庚子年 洋子

富田一班 宮川 洋子

萬里春

重二郎

五領四班 赤松 重二郎

曙

谷池 敏子

謹賀新年

正弘

清水五班 坂本 正弘

生祥

育子

三箇牧三班 松本 育子

夢

幾久子

壽

紀代子

大冠西十一班 松村 紀代子

## 会員のひろば

### 一生残る作品、 あくる日には消えた作品

高槻四班 初代元夫

昭和46年4月に就職し、水道一筋30年。誰かが、「水道でしか使えん」「本庁ではもたん」「あんな気ままでがんこな奴は勤まらん」。本人は、「何処でもいい仕事をしたい」と思っていた。

水道通水60周年の時。思い起こせば、この半分は水道にいたんや。公私ともに好きなことやらして貰ってきたな…。

「水道職員提案」の募集で、通水60周年記念事業に関わる提

案を“ということ”で、記念碑のデザインを考えてみた。

場所は国道171号線沿い京口町にある中央水源跡の一角。水道にちなんだ何か良いものをと、水道法第一条の条文にある「清浄にして、豊富、低廉」を、水道管に見立てた3本の長い石柱を立てることで表現しようと思いついた。

六方石、それでもできるだけ長いものを3本、また由来を刻む石碑には市の色にちなんだ緑の石が良い。学生時代、京都で庭石や灯笼を扱う材料屋さんでバイトをしていたので直ぐに頭に浮かんだ。石碑には市長の筆跡で「高槻の水道発祥の地」と刻んでもらった。

工事担当者の努力で、記念式典の日までに何とか間に合った。定年退職してもこの記念碑だけは一



生残る思い出となっている。

そして、もう一つ作品。堰田浄水場の緩速ろ過池が閉塞し給水に支障がでないようにと、浄水職員総出のろ過砂の掻き取り作業。

その日はあいにく最近にない大雪。現場にやつとのことたどり着くと、浄水場内は一面真っ白。マンホールの蓋だけがいやに黒かった。このマンホールの蓋を鼻に見たてて、重労働の掻き取り作業を癒すのに新雪を踏みしめ、足跡を描いてみました。(写真右)自分としては、なかなかの出来ばえ!でもあくる日には消えていました。

これだけ見ていると一見気楽に仕事をしていたように見えますが、本当は毎日辛かったんです。とほほ…。



「涼風(滋賀県箱館山ユリ園)」 芥川5班 藤川絢子



五領4班 赤松重二郎

## 花の道

如是三班 高田 壽子

私は今『新川姫虫と花を守る会』に参加して、楽しい日々を過ごしています。

南北に流れる芥川の、土手に点在する桜名所の一つ……城西橋から芥川大橋にのびる用水路『新川』にそって、百三十本近く並ぶ遊歩道の桜は、見事のひとことにつきます。その桜の根元に私達は四季折々の花を咲かせ、又土手の土の中で育ち、五月中旬〜下旬に飛び交う、姫虫の保護育成にもたずさわっているのです、一年中多忙です。

花好きのメンバーが、土作り・苗作り・さし芽・剪定・株分・草取り等、季節に応じて作業を進めます。散歩中の方々から「きれいに咲きましたね」と声がかかる



と、うれしくなると、新たな力がわいてきます。この場所以外にも、近くの公園



や学校、市役所近辺も折にふれ花の手入れに参加します。いつも一仕事を終えての私服は、至福の時……話の花も咲かせます。

ふと目をやれば、野鳥やメダカ・亀・ザリガニ・昆虫もいっぱい！高槻市のど真ん中に有る、この様な自然をいつまでも大切に……。そして自分達にとっても仲間作りや健康があふれます。しんどい事も沢山ありますが、花から元気をもらっています。

石段をトントン上った芥川の土手からの眺めも又すばらしく、360度の視界広がります。いつでもお散歩に来て見てくださあ〜い。

## 短歌

「たかちゃん」を 施肥し庭木 多に生る  
蜜柑は冬日に 色付き初む

鶺鴒殿原の 葦焼く焰 立ち昇り  
枯茎弾く 音の聞こえて

空地の草叢 刈り取る シルバーの方に  
礼述べ 朝の隣家に

## 俳句

藤袴に 浅黄斑は 翅揚げ

高き枝に 椀の渋柿 葉も赤く

堤防に 芒の穂並ぶ 夕日影



如是三班 西 康吉

## だ・趣味の集り

### ハイキング同好会

#### 「ロケ」ハイキング 自然の中を歩こう

代表 竹中尚一



高槻とその近郊には風光明媚な景勝地や由緒を誇る寺社、旧跡が沢山点在しています。また、あまり知られていない隠れハイキングスポットも随所にあります。私達は、このような魅力的な所を月に1回（第一日曜日）のんびりと巡り、充実した時間を過ごす

しています。野鳥のさえずり、小川のせせらぎ、雄大な眺め……自然の中を歩くと心身が洗われます。当同好会は、2007年に自然を愛し、歩くことが好きな者たちが集まり、ハイキングを通じ、互いに親睦を深め、かつ健康の維持を図ることを目的として発足。以来、今日まで仲間同士より親密さを増しながら、身も心も生き活きとハイキングを楽しんできました。今年も歴史・文化に触れあい、四季折々の景観とロマンを求めて歩き続ける所存です。

当会は安全第一を旨に活動していますので、ハイキング経験者はもちろんあまり長距離を歩かれなかつた方にも安心してご加入いただけます。愉快な同好の友がお待ちしております。

年会費 1,200円  
歩行距離 平均8km  
会員数 17人(女9人 男8人)  
行き先等はセンター掲示板の予定表をご覧ください。

なお、入会を希望される方で、保険未加入の方は団体保険に加入されることをお勧めします。



### 絵画同好会

代表 石津 厚太郎



皆さん絵を描いてみませんか？「私は絵を描くことが苦手」というあなた。あなたにも絵は描けます。公園に行つて絵を描いてみましょう。谷の樹は「私をきれいに描いてね」と話しかけてきます。谷の水はキラキラ光つてあなたに話しかけてきます。公園のスマイル・タンポポ、皆友達になります。公園にはいろんな樹の実がなっています。ドングリ・楓・釣船草・さるすべり、皆君の友達です。足元を見ると草花があります。オオイヌノフグリ・カミツレ・タンポポ・オタフクザサ・雪柳、皆

あなたの友達です。

実際に絵を描いてみましょう。画用紙と鉛筆、これで形をとることを覚えましょう。絵を描くということは自然の景色をあなたのものにするといい事です。

次に色をつけてみましょう。あなたの感じる色で良いのです。実際の色でなくても良いのです。絵技が進んで輪郭線や遠近法や白黒と進みますが、これは絵を描くための技法にすぎません。あなたが感じたあなたの絵それがあなたの作品です。

絵が描けたら額縁に入れてみましょう。額縁効果となつて一層絵が素晴らしく「私は絵がうまかつた」と自分を見直します。

水彩作品・デッサン・パステル・油彩と画技が上がりますが、最初の樹が美しく話しかけたことを思い出してください。それがあなたの絵の原点です。

毎日楽しく絵を描く。下手も上手いもない。「私は私の絵を描く」という時点で達した時、それはあなたの絵が完成した時です。頑張ってください。



# フェスティバル2019 **開催**

令和元年度 高槻市シルバー人材センターフェスティバル

9月にシルバー人材センター事業普及啓発促進の一環としてフェスティバルを開催しました。



9月18日(水)・19日(木) 高槻市立生涯学習センター 展示ホール







令和  
元年度

# 北部ブロックフェスティバル

10/19(土) 豊中市豊島公園多目的広場



# 活動報告

## 清掃奉仕活動に参加

11月17日(日)に行われた「高槻市環境美化推進デー」に会員・事務局が一緒に参加しました。当日はお天気も良く、参加者はお揃いのシルバー人材センターの黄色いベストを着用し、芥川桜堤公園までの道のりを清掃して歩きました。シルバー人材センターとしては毎年、高槻市環境美化推進デーの春と秋の年二回に参加しています。どなたでも参加できますので、是非ご参加ください。



## リサイクル養土「たかちゃん」販売中

皆さんに大好評いただいたおられますリサイクル養土「たかちゃん」を、シルバー人材センター事務所にて販売中です。

おかげさまで、毎年購入いただいているリピーターさんも多くなってきました。就業報告書提出時や、配分金明細書を取りに来所された際には是非お買い求めください。なお、売切れ次第販売終了となります。残りわずかですのでお急ぎください！

※販売日時など詳細はチラシでご確認ください。



## 初めて、フェスティバル会場販売

9月に行われた「高槻市シルバー人材センターフェスティバル」で、初めての試みとして「たかちゃん」の販売を行いました。「ここで売っているの?」「どうやって使うの?」「使ってみようかしら



?」などいろいろな言葉の中に、うれしい言葉や今後の販売にむけての参考になるような声を聞くことができました。

## 高槻市緑化フェアで販売



10月6日(日)、安満遺跡公園(高槻市八丁畷町)にて開催された「高槻市緑化フェア」でも販売を行いました。今年度は開催場所が変更されたにもかかわらず、この販売を楽しみにされているお客様が多数訪れ、お買い求めいただきました。

## 高槻市農林業祭でも販売



11月10日(日)、史跡嶋上郡衙跡地にて開催された「高槻市農林業祭」でも販売を行いました。当日は、野菜など両手に沢山の荷物を抱えつつも、「たかちゃん」を購入されるお客様が多く、当日用意した数は、ほぼ完売となりました。

## 敬老祝いイベント 「健幸まつり2019」 への参画

9月20日(金)、高槻市立生涯学習センターで開催された高槻市長寿介護課主催の「健幸まつり2019」に今年も参画しました。



1階では、ますます元気体操やお口の乾燥度チェック、栄養バランス診断、握力測定などの体験や展示、2階では、濱田市長と100歳の市民・竹内松代さん、医師・砂田一郎さんのトークイベントや講演会が行われました。参加者約500人に対して、1階にシルバー人材センターのブースを設置して、「会員募集」のチラシとティッシュを配布し、PRを行いました。

## 「健康づくり21」 第16回シンポジウム 活動展示会に出展

健康づくりと食育をより効果的に推進するために発足した「健康たかつき21ネットワーク」が10月7日(月)高槻市立生涯学習センター展示ホールで「活動展示会」が開催され、当ネットワークに加入しているシルバー人材センターもブースを設置しました。

「シルバー人材センターでの就業を通して健康づくりをしませんか?」と『会員募集』を、また、「何かお困りごとがあれば是非当センターにご用命ください!」と『お仕事の発注』を呼びかけるチラシとマスクの配布を行い、普及活動を行いました。  
会場には濱田市長も来場され、当ブースもご覧いただきました。



また、健康たかつき21ネットワーク事務局発行の「健康たかつき21ネットワーク通信VOL.5(2019.11.15発行)」にもブースの様子を掲載していただきました。

## 講習会開催しました 草刈機械操作講習会開催

9月に「草刈機械講習会」を行いました。半日間の『座学』講習では、草刈機械操作には「危険が伴う」という事を中心に、安全に就業するためのポイントに重点をおいた講義を行いました。また、機械の操作方法は、10月の『実地』講習にて、先輩会員と共に2日間の就業を通して、より理解を深めるとい形で行いました。



## 普通救命講習会開催



11月7日(木)センター内にて、「普通救命講習会」を開催しました。講師には高槻市北消防署署手分署より4名の署員に来ていただき、呼吸や心臓が止まったときに大切な「AEDの使い方」を含む心蘇生法を学びました。参加者は、「いざという時」の命に係わることも重要なことだと認識をし、真剣に取り組みました。



# 事務局からの お知らせ

## 配分金の確定申告を

令和元年分の所得税の確定申告の時期が近づいてきました。

シルバー人材センターから支払われた配分金は所得税法上「雑所得」として取り扱われ、確定申告を行う必要があります。

昨年(の)1月から12月の間に当センターで就業した方には、年間の配分金額を証明する「配分金支払証明書」を1月下旬に郵送しますので、必ず確定申告を行ってください。

詳しくは、茨木税務署(072・623・1131)もしくは、確定申告の会場でご相談ください。

## 講習会を開催します 会員講習会

毎年恒例の会員講習会を開催します。今年も、「交通安全講習会」に加えて、介護予防の取り組み「高齢者ますます元気大作戦」を行います。

日時	場所	内容	対象	受講料	講師
1月17日(金) 午前10時～12時	市民会館(高槻現代劇場) 集会室305号	野見町2の33 ・交通安全について ・高齢者の健康維持について	全会員(事前申込不要)	無料	高槻警察署 高槻市長寿介護課



## 植木剪定講習会



植木剪定講習会に参加して、仕事の幅を広げてみませんか？植木剪定は危険が伴いますので、基礎技術の習得はもちろん、安全就業についても受講できます。

**日時** 2月20日(木)、21日(金)  
午前9時30分～午後3時

**場所** エネルギーセンター  
(旧高槻クリーンセンター)  
前島3丁目8の1

**内容** 植木剪定(座学および実習)  
20名(多数の場合は抽選)

**受講料** 無料

**講師** 当センターの職員ほか

**持ち物** お弁当、水筒、剪定用具  
(ある人のみ)

**申込方法** 2月13日(木)までに事務局に申し込んでください。

## 編集後記

令和元年も自然災害の多い一年でした。台風19号の影響で強風・暴風だけでなく、河川の氾濫が発生、大規模な被害が起きました。年々増える自然災害への対策を考えていかねばならない事を痛感した年でした。

うれしい出来事はラグビーワールドカップで日本代表チームの大躍進でした。アイルランドやスコットランドの優勝候補に緻密な作戦と膨大な練習量で勝利した姿は私達に多くの感動を与えてくれました。チームメイトを互いに信頼しあう事により大きな目標を為し遂げる事はラグビーの精神である「One for all」。

「All for one」(1人は皆の為に 皆は1人の為に)を感じ入った気持ちでした。又、試合が終われば敵味方関係なくノースアイドの精神でカナダを始め外国の代表選手が被災地で後片付けをしてくださった姿も私達に多くの感動を与えてくれました。相手が困っていたら助ける姿勢、見習いたいと思います。

今年(は)オリンピックキヤーです。日本人選手の活躍を願いながら私達も小さな事でも活躍出来る様、健康に留意して今年一年を過ごしたいものです。

### 会報編集委員会

- 長縄 正道 森 和子
- 石谷 壽 北原 憲二